



# 診察室の午後

白浜はまゆう病院  
泌尿器科部長 川嶋 秀紀

ほとんどの医師は、専門とする診療科の学会に属している。私は泌尿器科医なので日本泌尿器科学会会員だ。学会は定期的に学術集会を開催し、そこで治療成績や研究成果の発表・討議や講演が行われる。例年春に行われる学会総会の学術集会では、発表の会場はホテルのいくつもの部屋に分かれて並行して行われ、発表時間は短く、皆せわしない。昼もお弁当をかき込みながら講演を聞く。忙しいが充実している。

1996年の夏に、ゴードン会議という学術集会から招聘(しょうへい)され

## 〈9〉 学術集会

ヤールプリマスにある私立進学高校ホルターネス校で行われた。美しい森に囲まれた広い敷地に、伝統を感じさせるいくつもの建物が配置された同校の寄宿舎に、参加者は皆、寝泊まりする。

参加者全員の集合写真がある。大学、企業、行政に所属する研究者が偏ること

が終わると皆でビールを飲んだ。緯度が高く、また夏時間のため夜遅くなっても明るい。そして何よりも涼しい空気が心地よい。このスケジュールが1週間続いた。

士研究員として、ある酵素の遺伝子の研究をしてい

た。この会議は歴史と権威のある学術集会で、そのテーマは現代の科学がどうであるように多岐にわたるため、いろいろな研究領域に分かれて各地で行われる。薬物代謝がテーマのゴードン会議は、ニューハンプシ

なく呼ばれているという。服装はカジュアルで、多くはTシャツに短パンである。朝、昼、夕食は、全員が食堂で談笑しながら取った。午前中は発表と質疑応答、午後からは自由時間で、夕方にはポスター形式の発表、晩餐(ばんさん)の後、また発表と質疑応答、それ

特筆すべきは午後の自由時間である。皆でサッカーをしたり、ハイキングに行ったり、野球をしたり、また近くの湖までドライブに行ったりとまるで夏季休暇である。毎回の食事もおいしかった。費用はこの会議から支給された。今思えば、このような学術集会は後にも先にも経験したことがない。

ゴードン会議のホームページを見ると、今でも昔のままだ。こんな学術集会が、白浜でゆったりと開催されたらどんなにいいだろうと思っている。